

小中一貫教育を進めています!

横浜型小中一貫教育

豊田中ブロック

豊田小学校

倉田小学校

豊田中学校

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指します。

豊田中ブロックの小中一貫教育について、紹介します

1 小中教員の交流

ブロック内3校の教員が夏休みに一堂に会して研修や情報交換を行い、小中一貫カリキュラムの推進に役立てています。

今年度は、8月26日に人権教育・児童生徒課指導主事の梅田先生、小倉先生を講師にお招きし、『一人ひとりの子どもたちが生きる授業づくり・学級づくり』というテーマで研修を行った後、小中教員の情報交換会を、教科ごとに分かれて行いました。



2 児童・生徒間の交流

児童生徒交流日(10月17日)には、ブロック内小学校6年生の児童が中学校を訪問し、授業見学の後、中学校生徒会による学校説明や図書館見学、部活動見学を行いました。

その他にも、豊田中学校の吹奏楽部や合唱部が小学校を訪問して、演奏や合唱を披露しながら中学校の様子を小学生に伝えています。



3 新しい取組も始まりました

小学校の授業研究会に中学校教員が参加をするという取組は以前から行われていましたが、昨年度より新しい取組として、授業研究会の日に中学校の午後の活動を休止して、多くの中学校教員がブロック内2つの小学校に分かれて参加できるようにするという取組を始めています。